説明書 No. SPV-EC 1202-120822

Suiden

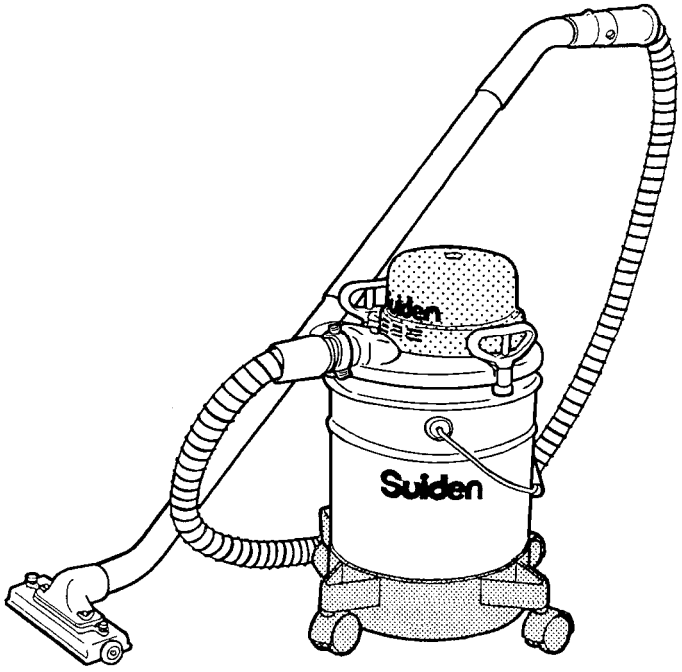
ペール缶型ライトクリーナー≪乾湿両用型≫

ちびタン
SPV-101EC
取扱説明書

吸引対象物	
一般ゴミ	○
微粉じん	×
水	○
油類	×

もくじ

1 安全のために必ずお守りください…… 1
2 各部の名称…… 3
3 仕様と付属品…… 4
4 ご使用方法…… 4
　1.φ38-25T型ノズルセット品の組立方法… 4
　2.おすすめします　専用機としての使い分け… 5
　3.電源コードの接続…… 5
　4.ホースの接続と外し方…… 5
　5.ノズルの接続…… 5
　6.スイッチ…… 5
　7.風量調節リング…… 6
　8.フロート（オーバーフロー防止装置）…… 6
　9.タンクの着脱方法…… 6
　10.ポリ袋の利用…… 6
5 あとかたづけ…… 6
　1.ゴミがたまったら（タンクにたまったゴミを捨てる）… 6
　2.フィルターのメンテナンス…… 7
　3.お手入れ…… 8
6 こんなときは（故障かな？と思ったら）… 9
7 安全のための点検のお願い…… 9
8 アフターサービスと保証について…… 11



本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
必要なときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。

世界のブランド〈Suidenスイデン〉製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してご活用ください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、必ず本説明書をお読みください。

日本国内100V電源専用
（交流100V以外の電源では使用できません）

株式会社スイデン

1 安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この『安全のために必ずお守りください』をよく読み内容を理解してから正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、⚠警告・⚠注意の2つに区分しています。
しかし、⚠注意の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

⚠警告：取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意：取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。

注記：警告・注意以外の情報を示します。

絵表示の例		△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。（左図は感電注意）
		⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止事項が描かれているものもあります。（左図は分解禁止）
		●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。（左図はアースする）

●製品仕様への注意事項

⚠ 注 意
⃠ 決められた製品仕様以外で使用しない。 ＊漏電・感電・火災・水漏れなどの原因になります。

●搬入・移動上の注意事項

⚠ 注 意	
❗ 搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業する。 ＊落下・破損などによりケガの原因になります。	❗ 人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけをかがめず膝も曲げて持ち上げるようにする。 ＊腰を痛める原因になります。

●試運転・運転の際の注意事項

⚠ 警 告	
❗ 定格 15A以上のコンセントを単独で使用する。 ＊他の器具とコンセントを併用したり、電源回路の許容電流が合わないと、分岐コンセント部が異常発熱・発火することがあります。	⃠ 濡れた手で、差込みプラグやスイッチ、配線などの電気まわりに触らない。 ＊感電やケガの恐れがあります。
	⃠ 水や油などをかけない。 ＊火災・感電の原因になります。
❗ アースを確実に取付け、漏電ブレーカー（別売市販品）を使用する。 ＊故障や漏電のときに感電する恐れがあります。	❗ 電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布で拭取る。 ＊プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。
⃠ ダイオキシン類などの有害物質やアスベスト（石綿）類を含んだ粉じんなど、人体に有害なものを吸引しない。 ＊環境汚染・健康障害につながる危険性があります。	⃠ 塩素系切削油を吸引しない。 ＊化学変化により樹脂製部品が割れる恐れがあり、割れた部品などでケガをしたり、部品破損により思わぬ事故が起きる危険があります。

⚠ 警　告

灯油･ガソリン･シンナー･ベンジン･塗料などや、その他引火性のもの、爆発の恐れのあるものを吸引したり、それらの近くで使用しない。
＊爆発したり、火災の原因になります。

アルミニウム･マグネシウム･チタン･亜鉛･化学物質などの爆発性粉じん、ガス･蒸気などを吸引したり、それらの近くや雰囲気内で使用しない。
＊爆発したり、火災の原因になります。

⚠ 注　意

10μm（ﾏｲｸﾛﾒｰﾀｰ）以下の粉じんは吸引しない。
＊本機は極小微粉じん吸引には適しません。
①微粉じんがモータ内部へ入り込み、モータ焼損を原因とした火災の恐れがあります。
②微粉じんがフィルターを通過して排気口から吹出し、雰囲気汚染の原因になります。

使用する電源回路を事前に確認する。
＊許容電流 15Ａ以上の電源回路が必要です。
許容電流が合わないと、過熱などにより事故の恐れがあります。

交流 100Ｖ以外で使用しない。
＊感電やｼｮｰﾄして発火することがあります。

火気に近づけない。
＊本機の変形により、ショートして発火することがあります。

動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店に必ず点検修理を依頼する。
＊感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

パイプやホースに吸引物などが詰まったり、フロートが上がって吸引が止まったときは、すぐにスイッチを切る。
＊モータの温度上昇により事故が発生する可能性があります。

運転中に吸引口や吸気口･排気口をふさがない。
＊モータの温度上昇により事故が発生する可能性があります。

屋外の雨水のかかる場所で使用しない。
＊本機は屋内仕様品です。絶縁劣化による感電・漏電火災・故障の原因になります。

温度の高い（40℃を越える）場所で使用しない。
＊火災の原因になります。
使用雰囲気温度範囲は 0℃～40℃です。

湿度の高い場所で使用しない。
＊感電・火災・故障の原因になります。
雰囲気湿度 80%以下でご使用ください。

浮遊粉じんの多い雰囲気で使用しない。
＊モータ冷却側からモータ内部に浮遊粉じんが入り込み、モータ焼損による火災の原因になります。

本機を横倒して使用しない。
液体の吸引直後は、本機を横に倒さない。
＊液体が吹きこぼれ、転倒事故などの原因になります。

塩素系切削油がミストや油煙化した雰囲気内で使用しない。
＊樹脂部品に付着すると化学変化が起きて樹脂が割れる恐れがあり、割れた部品などでケガをしたり、部品破損により思わぬ事故が起きる危険があります。

海水などの腐食性のある液体や粉体・ゴミは吸引しない。
＊モータ焼損や故障、事故の原因になります。

液体と粉じんを連続して吸引しない。
＊フィルター目詰まりによるモータの焼損により、火災の原因になります。

鋭利な切粉は吸引しない。
液体吸引のときは、液体以外は吸引しない。
＊フィルター破損や目詰まりを起こし、モータ焼損による火災の原因になります。

シンナーなどの溶剤、揮発性・爆発性ガス・粉じん、火のついたたばこの吸いがら、熱を持った物質などは吸引しない。
＊爆発･火災、ﾌｨﾙﾀｰ焼損の原因になります。

泡立つものは吸引しない。
＊泡でフロートが正常に動作しない場合があり、オーバーフローすると排気口より泡があふれて漏電したり、着衣が汚れる危険があります。また、モータ故障の原因になります。

クリーナーを移動するときは、モータカバーを押して動かす。
＊電源コードやホースを引っ張って本機を移動すると、電源コードやホースの破損などにより、火災･感電･汚染事故の原因になります。

ホースを踏んだり、急激に引っ張らない。
＊ホース破損による汚損事故の原因になります。

吸込口に手や指を入れない。
＊ケガの原因になります。

作業後は、タンク内のゴミを必ず捨てる。
＊タンク内にゴミをためたままにすると、ゴミが腐敗や化学変化をおこして、健康を害する要因になることがあります。

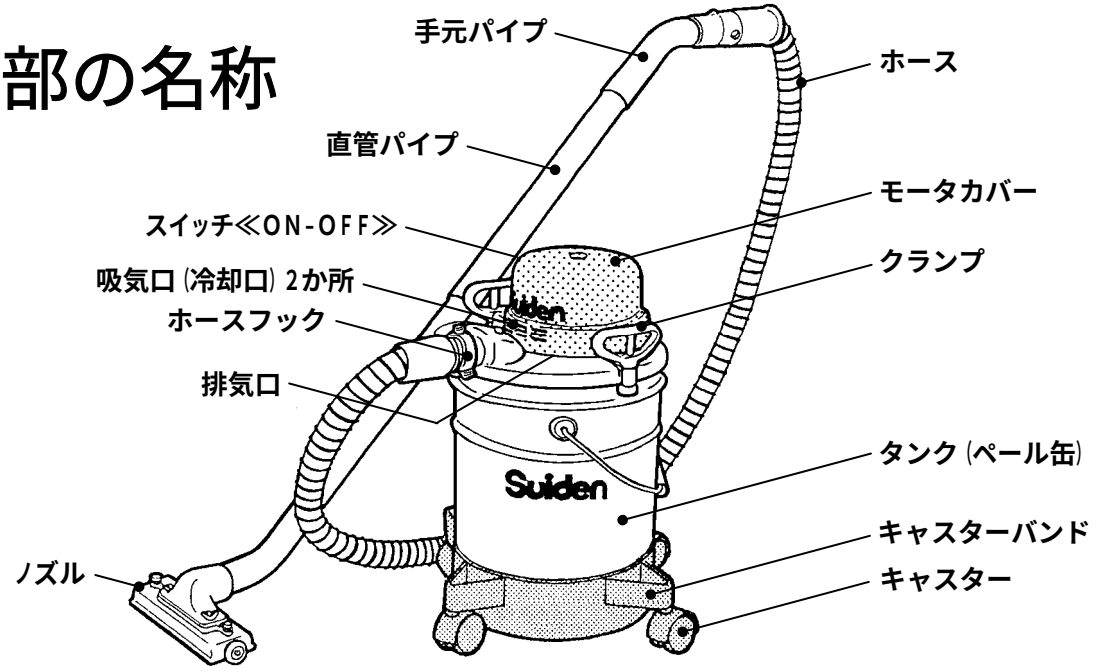
ゴミを捨てるときは、保護手袋や安全靴を着用する。
＊タンク内のゴミなどで手を傷つけたり、タンクを足の上に落としてケガをする恐れがあります。

⚠ 注 意	
くわえたばこをしたままゴミを捨てない。 ＊たばこの火がゴミに燃え移り、やけどや火災の原因になります。	ゴミを捨てるときは、防じんメガネやマスクを着用する。 ＊健康を害する恐れがあります。
電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。 ＊感電やショートして発火することがあります。	電源コードや延長コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。 ＊コードが発熱して火災の恐れがあります。必ず伸ばした状態で使用してください。
電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重い物をのせたり、挟み込んだりしない。 ＊電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。	延長コードは、適切なものを選んで使用する。 ＊延長コードが容量不足な場合、発熱して火災の危険があります。
	電源プラグにピンやゴミを付着させない。 ＊感電やショートして発火することがあります。
使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 ＊ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。	使用後は、電源コードを踏んだり、傷つけない位置に収める。 ＊電源コードが劣化したり、傷つくと危険です。
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。 ＊感電やショートして発火することがあります。	

●保守・点検の際の注意事項

⚠ 注 意	
修理技術者以外の人は、分解したり、修理や改造を絶対にしない。 ＊発火したり異常動作することがあります。	お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 ＊感電やケガをする恐れがあります。
フィルターの洗浄にシンナー液を使うときは、火気を近づけない。 ＊火災・事故の危険性があります。	フィルターの洗浄にシンナー液を使うときは、十分に換気する。 ＊シンナー中毒になる恐れがあります。
フィルターを着脱するときは、フィルターバンドで指などを挟まないよう気をつける。また、フィルターバンドが弾けないように、ゆっくりと作業する。 ＊指を挟んだり、顔に当たってケガをする恐れがあります。	

2 各部の名称



3 仕様と付属品

注記 ①許容電流15A以上の電源回路が必要です。使用される電源回路をご確認ください。
②タンク実容量は、粉じんと液体吸引それぞれの容量を表示しています。合計容量は吸引できません。
③標準質量には、ホース、直管パイプ2本、T型ノズルの質量を含みます。

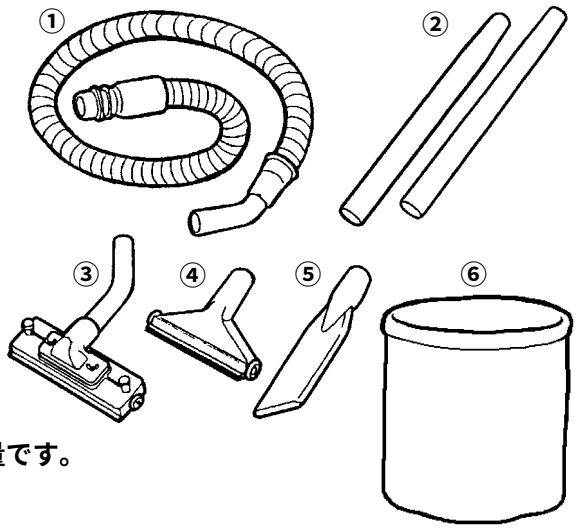
仕様表

愛　　称	**ちびタン**
品　　番	**SPV-101EC**
電　　源	100V
消 費 電 力	1,010W
電　　流	11.0A
風　　量	3.4m³/min
最大真空圧	20.7kPa
フィルター面積	0.15m²
タンク実容量	16L (液体14.5L※)
ホ　ー　ス	径φ38×長さ2m
電源コード	長さ8m(アースクリップ付き)
本体寸法	幅520×奥行き520×高さ540mm
標 準 質 量	11.5kg (本体のみ 9.8kg)

※タンク実容量の( )内数値は、液体のみ吸引した場合の容量です。

付属品

①φ38GLMMホース組品2m　1本
②φ38直管パイプ2本組　1組
③φ38-25T型ノズルセット品　1個
④φ38-20水切りノズル　1個
⑤φ38スキマノズル大　1個
⑥布フィルター(1枚は本体にセットしています)　2枚



4 ご使用方法

安全にご使用いただくために、必ず「1 安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

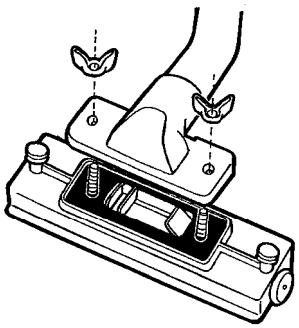
1. φ38−25T型ノズルセット品の組立方法

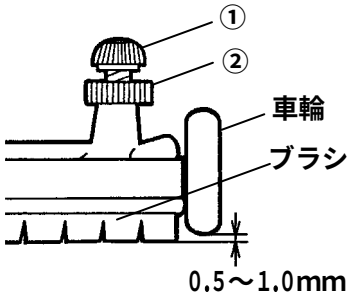
右図のように組立ててください。

ノズルの組立てが終わったら②のナットをゆるめて、①のネジで車輪がブラシより0.5～1.0mm高い位置になるように車輪の高さを調整してください。

最後にもう一度②のナットを締めなおします。

注記 床面とブラシの間隔が広すぎると吸引力の低下につながりますので使用途中でも、ときどき調整してください。





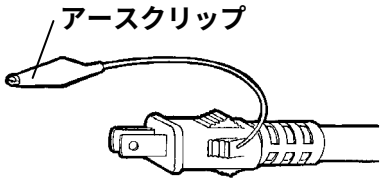
注記

本機は、粉じんも液体も吸引可能な≪乾湿両用型≫のクリーナーですが、液体を吸引した後、続けて粉じんなどの乾いたゴミを吸引することはできません。
①液体と粉じんを連続して吸わせないでください。
②フィルターが濡れているときは、乾いたゴミは吸わせないでください。
③本機は<軽じん用>です。10μm以下の微粉じんの吸引はモータ焼損事故の原因になります。
④液体を吸引した後は、すみやかにタンク内の液体を捨ててください。
液体吸引後は、フィルター内部にも液体がたまっていることがありますので、フィルター内部の液体も必ず捨ててください。
⑤水・汚泥などは吸引できますが、切削油などの油類は吸引しないでください。故障の原因になります。
⑥他社製ペール缶をタンクとしてご使用の場合は、金属製で板厚が0.5mm以上のものをご使用ください。板厚が0.38mm以下のペール缶は、強力な吸引力により激しく変形しますので使用できません。樹脂製などのクランプで固定できないペール缶は、タンクとして使用できません。

2. おすすめします……専用機としての使い分け

粉じん用と液体用とを分けて、いずれかの専用機としてご使用いただいたほうが、フィルターの目詰まりも少なく、本機の性能もより効果的に発揮でき、お手入れも簡単です。

3. 電源コードの接続

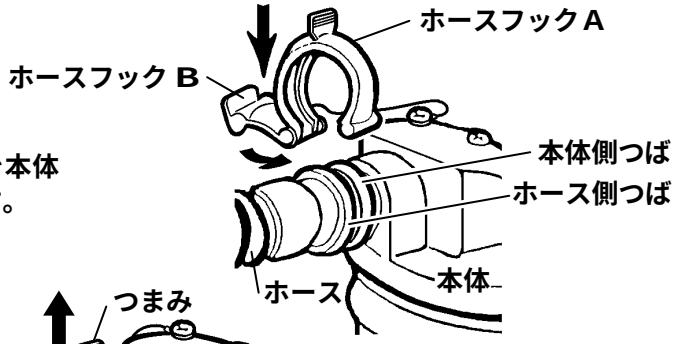


① 電源プラグを100Vのコンセントへ差込みます。
② コード先端にアースクリップがついています。
感電事故防止のため、必ずアースしてください。

4. ホースの接続と外し方

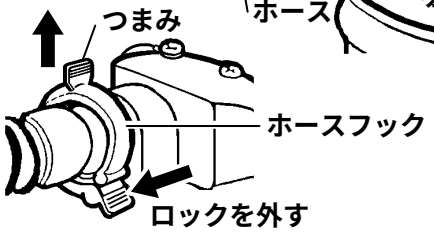
⑴ ホースの接続

① ホースを吸込み口に差込み、ホースフックAを本体側のつばとホース側のつばの両方にかぶせます。
② ホースフックBでロックしてください。



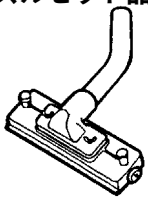
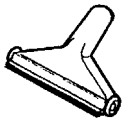
⑵ ホースの外し方

① ホースフックのロックを外してください。
② ホースフックのつまみを持って引き上げると、ホースフックが外れます。



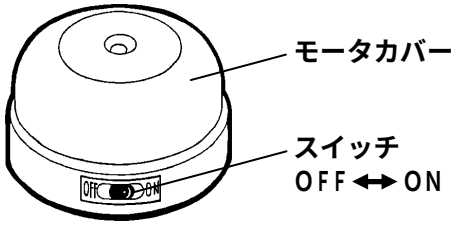
5. ノズルの接続

吸引対象物に応じて、ノズルを選択してください。

≪φ38-25T型ノズルセット品≫	≪φ38-20水切ノズル≫	≪φ38スキマノズル大≫
清掃全般にご使用いただけます。 	液体類の吸引にご使用ください。 	隙間などの清掃にご使用ください。

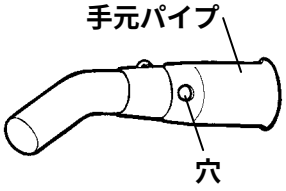
6. スイッチ

モータカバー側面にスイッチがあります。

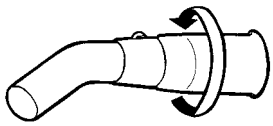


7. 風量調節リング

水槽などの水を吸わせる場合は、手元パイプの風量調節リングを回して、穴が開いた状態でご使用ください。



液体以外の通常の掃除にご使用の場合には、手元パイプの風量調節リング下の穴がふさがった状態でご使用ください。

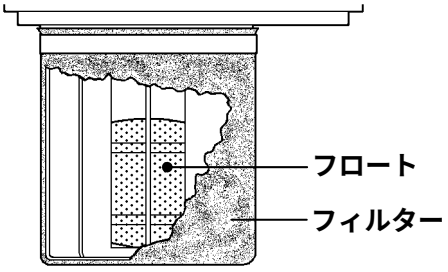


8. フロート（オーバーフロー防止装置）

① タンク内に一定以上の液体がたまると、オーバーフロー防止のために吸引を停止する装置です。

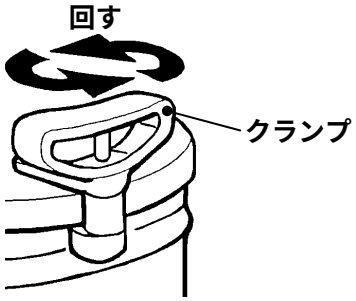
② 装置が働き、吸引が停止したら、電源スイッチを切ってからタンク内の液体を捨ててください。

③ フロートが上がっていると吸引運転ができないので、時々フロートを上下に動かして点検してください。



9. タンクの着脱方法

クランプを回転させて、クリーナー上部とタンクを固定・解除します。

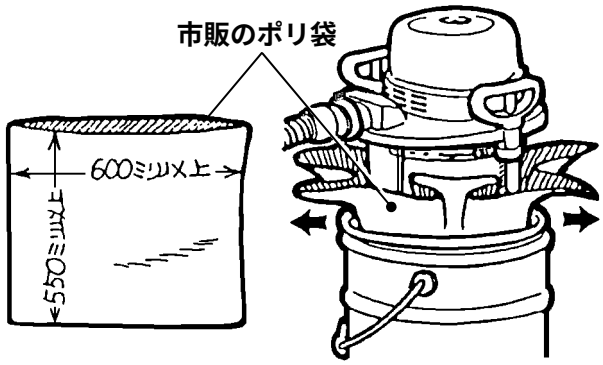


10. ポリ袋の利用

① 市販のポリ袋を、ダスト処理用ゴミ袋として使用できます。

② ポリ袋は、折径サイズで600×550mm以上の袋をご利用ください。

③ ポリ袋をタンクに折り返して本体との間に挟み込み、クランプで止めます。



5 あとかたづけ

1. ゴミがたまったら（タンクにたまったゴミを捨てる）

① 作業後は、タンク内のゴミを必ず捨ててください。
タンク内にゴミをためたままにすると、ゴミがタンク内で固形化して付着したり、ゴミが腐敗して悪臭や細菌、錆が発生する場合があります。

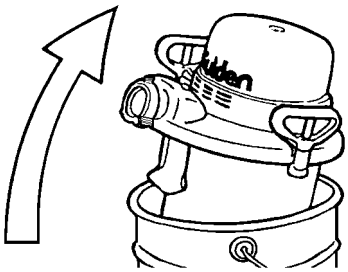
② タンクを乱暴に扱うと、タンクが変形し、クリーナーに装着したときに真空度が低くなり性能が著しく低下する場合があります。タンクを蹴飛ばしたり、投げたりしないでください。

③ ゴミを捨てる際は、タンク内のゴミで手を傷つけないように保護手袋をしてください。
また、タンクを足の上に落としてケガをしないように安全靴の着用をおすすめします。

④ 産業廃棄物は、条例等の規定に則り処理してください。

■タンクを外すとき

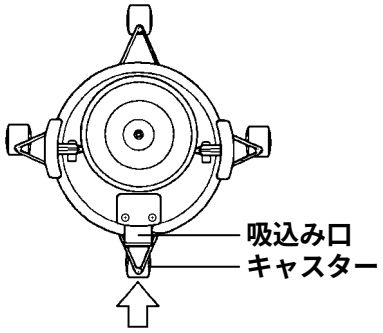
① クランプを回して、タンクからクリーナー上部を外します。
クリーナー上部を床に置くときは、静かにそっと置いてください。



■タンクを装着するとき

① クリーナー上部の吸込み口が、４つのキャスターの内の１つと同じ向きになるように、タンクに装着します。

② クランプでクリーナー上部を固定します。
タンクとクリーナー上部がズレて隙間ができていると、空気がもれて適正な吸引力が得られませんのでご注意ください。

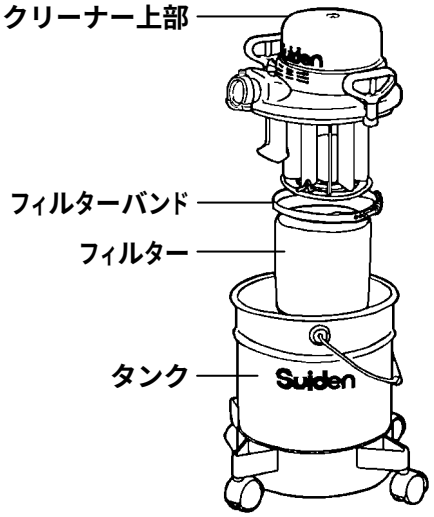


2. フィルターのメンテナンス

注記 ①フィルターが濡れているときは、ゴミを吸引しないでください。
②フィルターをクリーナーから外したままで、ゴミを吸引しないでください。
＊各種トラブルの原因になります。

1 フィルターを取外す

フィルターを紛失しないようにご注意ください。



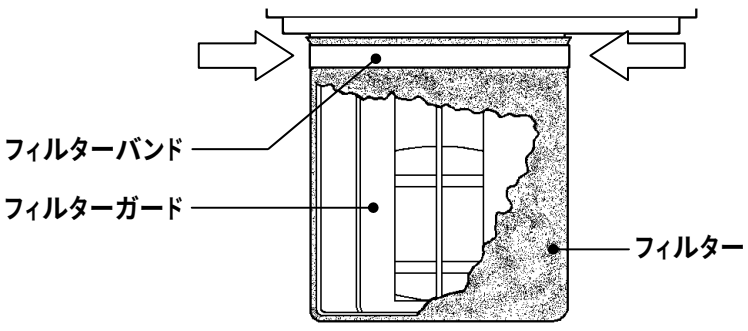
フィルターの目詰まりがひどい場合は、フィルターを取外して歯ブラシなどでゴミを取除いた後、水またはぬるま湯などで洗ってください。

2 洗って乾かす

完全に乾くまで、陰干ししてください。

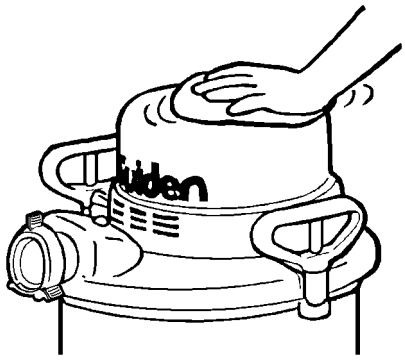
3 組立てる

フィルターは、フィルターカバーの右図の位置でフィルターバンドを締付けて、隙間のできないように装着してください。



3. お手入れ

ホースやクリーナー外装が汚れたら、中性洗剤のうすめ液に浸したぞうきんやウエスを固く絞って拭いてください。



注記
①石油、ベンジン、アルコール、シンナー類は、ご使用にならないでください。
②本機の樹脂の材質には、主にＡＢＳ樹脂を使用しています。作業雰囲気により、樹脂に悪影響を及ぼすことがありますので、本機に付着した汚れを放置しないよう、定期的にお手入れをしてください。

＊≪ご参考≫モータのブラシ（カーボンブラシ）交換手順＊＊

⚠ 注 意

修理技術者以外の人は、分解したり、修理や改造を絶対にしない。
＊発火したり異常動作することがあります。

本機は、整流子モータを採用しています。
モータのブラシ(カーボンブラシ)の磨耗により吸引力が弱まった場合は、ブラシを交換してください。
★新品時のブラシの長さは28mmです。
交換の目安として、残り7～8mmまで磨耗したら、新しいブラシと交換してください。

（1）ネジ①(両側２本)を外して、ファンカバーを取ります。

（2）ネジ②を外して、ブラシＢを交換します。
カーボンブラシの端子に、コードがハンダ付けされていますので、溶かして外してください。

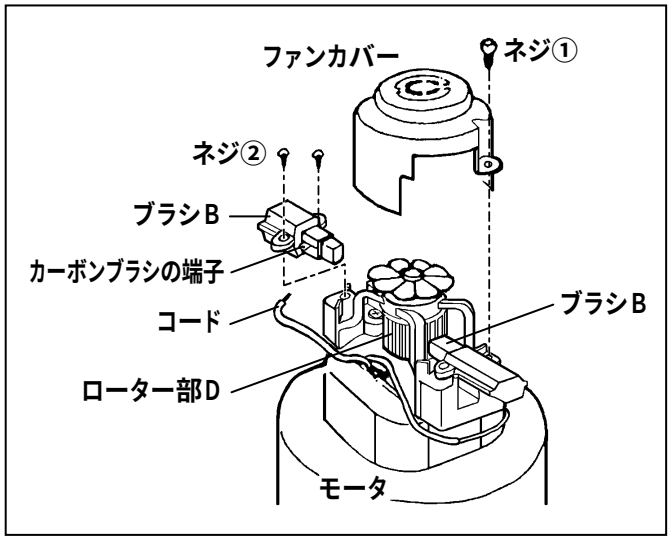
（3）新しいカーボンブラシを取付ける前に、ローター部Ｄをクリーニングします。

① 200番のサンドペーパーで全体を磨き上げてください。

② アルコールで洗浄してください。

（4）新しいカーボンブラシの端子に、(2)で外したコードをハンダ付けしてください。

（5）いままでの逆の手順で組立てると完了です。



≪特記≫
ブラシ交換後に試運転を行い、Ｄ部とブラシ部の接点から青い火花が出ているときは、モータの寿命ですから、モータを交換してください。
★本機の使用方法などにより、多少の差は生じますが、使用時間500時間程度がブラシ交換のおおまかな目安です。

6 こんなときは（故障かな？と思ったら）

故障診断の手引き		
症　状	調べるところ	直し方
•運転しない。	電源プラグがコンセントに確実に差込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差込み直します。
	電源ブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーが落ちた原因を解消してください。
	電源コードが断線していませんか？	正常な状態に直してください。
	本体内蔵のヒューズが切れていませんか？	修理技術者に連絡して、ヒューズが切れた原因を取除いた上、専用の管ヒューズを交換してください。
•吸引しない。 •発生音が高くなった。	吸引物がタンクに満杯になっていませんか？	タンク内の吸引物を処理してください。
	モータのカーボンブラシが減っていませんか？	カーボンブラシの交換が必要です。（カーボンブラシ交換手順の項参照）
	ホースや吸込み口にゴミが詰まっていませんか？	ゴミを取除いてください。
•吸引力が急に弱くなった。	ホースや吸込み口にゴミが詰まっていませんか？	ゴミを取除いてください。
	クリーナー上部とタンクは完全に密閉していますか？	クリーナー上部とタンクを正しく合わせて、クランプで確実に固定します。
	フィルターが目詰まりしていませんか？	フィルターのホコリを落してください。 フィルターを洗浄してください。 洗浄しても吸引力が回復しないときは、フィルターを交換してください。
	モータが異常回転していませんか？	修理技術者に連絡して、故障のモータを交換、または故障原因を取除いてください。

※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の人は、分解や修理を絶対にしないでください。
※上記処置をしても直らない場合は使用を中止し、販売店に点検・修理をご依頼ください。

7 安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、下記項目の点検をしてください。
点検で不具合が見つかったときは、すみやかに処置を施してください。

点検項目	処置
電源コードは傷んだり、変形していませんか？	電源コードの交換が必要です。
電源プラグは変形したりグラついていませんか？	電源プラグの交換が必要です。
ホースは変形したり破れていませんか？	ホースを交換してください。
ホース・直管パイプにゴミが詰まっていませんか？	ゴミを取除いてください。
フィルターは正しくセットされていますか？	正しくセットしてください。
フィルターが破れていませんか？	フィルターを交換してください。
クランプは正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
フロートは、正しくセットされていますか？	正しくセットしてください。
タンクは変形していませんか？	タンクの交換が必要です。
タンク内にゴミや液体がたまっていませんか？	ゴミや液体を処理してください。
キャスターが磨耗したり変形していませんか？	キャスターの交換が必要です。
モータ回転音に異常はありませんか？	修理技術者、販売店に連絡してください。

※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の人は、分解や修理を絶対にしないでください。部品の交換・点検が必要な場合は、販売店に点検・修理をご依頼ください。

●危険防止のための注意事項

- ❖ 本機は正常なご使用方法で運転する場合、本機自体より事故を発生することはありません。
- ❖ しかし吸引する粉じんの種類や周囲の雰囲気により、種々の火種、静電気の放電による火花などにより、ガス爆発や粉じん爆発を起こす場合があります。
- ❖ 引火性、爆発性、腐食性ガスの雰囲気内および爆発性粉じん、可燃性粉じんが浮遊、または堆積する可能性のある危険場所では絶対にご使用にならないようご注意ください。
- ❖ 参考のため、爆発性ガスおよび粉じんの一部を表記します。

（1） 主な爆発性ガスの種類

爆発等級	発火度					
	G１	G２	G３	G４	G５	G６
1	アセトン、トルエン アンモニア、プロパン 一酸化炭素、ベンゼン エタン、メタノール、酢酸 メタン、酢酸エチル	エタノール 酢酸イソアミル １-ブタノール ブタン 無水酢酸	ガソリン ヘキサン	アセトアルデヒド エチルエーテル		亜硝酸エチル
2	石炭ガス	エチレン エチレンオキシド	イソプレン			
3	水性ガス 水素	アセチレン			二硫化炭素	硝酸エチル

（2） 主な爆発性および可燃性粉じんの種類

爆発性粉じん	可燃性粉じん	
	導電性のもの	非導電性のもの
マグネシウム、アルミニウム アルミニウムブロンズ アルミニウム（含脂）	亜鉛、チタン、コークス カーボンブラック、鉄 石炭	小麦粉、とうもろこし、砂糖 ゴム、染料、ポリエチレン フェノール樹脂、ココア リグニン、米ぬか、硫黄

●静電気の発生とその防止について

- ❖ 静電気の発生は、二つの物体の接触分離など力学的運動に伴い、本来電気的に中性状態である物体上でプラスまたはマイナスのどちらか一方の極性電荷が他方よりも過剰となる現象です。
- ❖ クリーナーや集じん機の場合、粉じんを吸込むときに、その粉じんとホースまたはダクトの内面の接触･摩擦移動により、静電気がホースやダクトまたはクリーナー･集じん機本体、フィルターに蓄積される状態を言います。
- ❖ そのため、この蓄積された電荷がダクト内や本体内のフィルターなどからアースに対し放電状態で中和される際に周囲の可燃性の粉じんなどに引火し、いわゆる粉じん爆発を起こす要因になります。
- ❖ 静電気発生を極力少なくするため、本体およびダクトはアースに接続していただくと同時に、フィルターは帯電防止用フィルターをご使用ください。これは、高電圧になる前に大地に放電して障害を少なくするためです。
- ❖ 静電気は空気が乾燥するほど、また、微粉じんを高速で吸引するほど多く発生します。
- ❖ 物質の帯電序列の例を参考のため下記に表示しました。
  表中、二つの物質を摩擦または剥離したとき、上部の物質がプラスに帯電し、下部の物質がマイナスに帯電します。
  ホースやダクトまたはフィルターの材質と粉じんが接近したものほど帯電は少なくなります。

（3） 帯電序列の例

金属	繊維	天然物質	合成樹脂
（＋）	（＋）	（＋）	（＋）
鉛	羊毛	アスベスト	エポナイト
亜鉛	ナイロン	人毛・毛皮	ポリスチレン
アルミニウム	レーヨン	ガラス	ポリプロピレン
クローム	絹	雲母	ポリエチレン
鉄	木綿	木材	塩化ビニル
銅	麻	人の皮膚	ポリテトラフロロエチレン
ニッケル	ガラス繊維	紙	
金	アセテート	ゴム	
白金	ビニロン	セルロイド	
	ポリエステル	セロファン	
	アクリル		
	ポリ塩化ビニリテン		
（－）	（－）	（－）	（－）

8 アフターサービスと保証について

⚠ 注 意

当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。
＊当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
＊当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
＊他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの当社支店・営業所にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自設定しています。標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後６年です。

●保証について

この製品の保証期間は納入日より１年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無償保証	取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。 ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。 また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

⚠ 安全に関するご注意

●本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
●本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

愛情点検

★長年ご使用のクリーナーの点検を！

このような症状はありませんか？	●スイッチを入れても時々運転しないことがある。 ●運転中に異常な音や振動がある。 ●本体が変形していたり、異常に熱い。 ●焦げ臭い“におい”がする。 ●その他の異常がある。	▶ お願い 異常があればご使用を即、中止!!	このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

アフターサービスのお申し込みについて

アフターサービス・修理のお申し込みは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へお申し込みください。

●お買い上げ販売店のメモ欄

店　名	お買い上げ年月日 年　月　日
所在地	TEL
	FAX

≪製品の廃棄について≫　本機を廃棄するときは、分解し、分別処理して廃棄物処理場に出してください。

スイデン商品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へどうぞ！

お客様相談室　フリーダイヤル 0120-285-240
FAXでのお問い合わせは (0745)33-3618
Eメールでのお問い合わせは info@suiden.com
株式会社スイデン　奈良県生駒郡三郷町夕陽ケ丘3-26　ホームページ http://www.suiden.com